

自分の想いを言葉にのせて

2010 関川中「わたしの主張」大会



各学年から選ばれた代表六人が、六分以内という規定のなか、言葉一つひとつに心をこめ力強く発表しました。

審査の結果、村上・若船地区大会（県村上健康福祉事務所主催）出場者に伊藤佳奈子さん（三年・南中）を選出。伊藤さんは、八月二十一日に行われた同大会で発表し、優秀賞を受賞しました。

*発表の概要は次のとおり。発表順。

中学生が日頃考えている意見や主張、普段の生活の中で感じる家族や仲間との絆などを発表する「関川中学校わたしの主張大会」が七月二十二日、関川中学校体育館で開かれました。

ことばに 思いを込めて

「ありがとう」は小さい頃から使ってきたことばです。しかしある出会いで私の考え方方が変わりました。中一の夏、家族連れの観光客に道を尋ねられました。その方から笑顔で「ありがとうございます」と言われ、私はとてもうれしい気持ちになりました。相手の本当の気になりました。相手の本当の気持ちがことばに込められていましたからです。これを活かせば私たちも人間関係がうまくいくのではないかでしょうか。学校生活での友達とのけんかも、素直な思いをことばにして伝えることで仲直りできました。現代はメールや電話で簡単に済ませることが多いですが、口に出てて目を見て伝えることが大切です。ことばの使い方や選び方に気付けていきたいです。

仲間の大切さ

試合でミスをして落ち込むと、必ず励ましの声を掛けてくれる「仲間」がいます。仲間は心から信頼できる人、どんなときでも助けられる人です。野球で自分のミスで負けてしまったときでも仲間は助けてくれるので、いつも「みんなありがとうございます」と感謝しています。

仲間と助け合い、協力することで共感でき、こうして目標達成したときの感動は、すばらしいものです。みなさんも仲間を見つけ、自分も仲間という存在になってください。

日常生活でも周囲に気を配つたり、困っている人がいたり手を貸したりすることが大切です。私自身が周りの人のかなりました。これからは家族を大切にしていこうと思います。おばあちゃん、ありがとうございます。埼玉の祖母がなくなつたと聞いて何がなんだか分からなくなりました。祖母は優しく、ほしいものは買ってくれる、孫には甘い人でした。祖母に会つて涙が出ました。が、泣いていても祖母が喜ばないと思いました。葬式の列席者を見ていて、祖母がたくさんの人と一緒に仕事をしていました。これが想像できました。祖母の死から家族の絆が分かっていました。これからは家族を大切にしていこうと思いま

祖母が教えて くれたこと



平田希実さん
(2年・下関)



平田将太さん
(2年・小見)



佐藤優太さん
(1年・大島)

「ありがとう」 という気持ち

幸せを感じて

「自由道」

関川中健児の活躍

* 敬称略



平田里奈さん
(1年・松平)



伊藤佳奈子さん
(3年・南中)



加藤聰さん
(3年・鮎谷)

バレー部に入部。厳しい練習に進んで取り組む先輩をすごいと感じました。また先輩に教えてもらいながら練習の準備をするうちに部活動の大変さがわかつてきました。

バレー部は郡市大会で優勝し、下越大会では県大会を目指して最後まで精一杯戦いました。大会後の先輩に感謝の気持ちを伝えると、笑顔でことばを返してくれました。

わたしは部活動を通して「ありがとうございます」という気持ちの大切さを学びました。「人では何もできない」ということを実際に体験できました。これから、常に感謝の気持ちを心にもって生活していきたいです。

私は修学旅行で、東京のユーロハウスを訪問しました。スタッフの方の説明を聞くうちに支援をする側の苦労やつらさがわかり、とても驚きました。五歳の誕生日を迎えない子どもたちや学校へ通えない子どもの話も聞きました。

私たちが普通だと思っていることは実はとても幸せだということ、恵まれた環境の私たちが一日一日を大切に生きていかなければならぬことを強く感じました。

自分得意の技術を人のために役立てれば、周りへの余裕や優しさが出てくるはずです。その繰り返しが人と人の幸せな未来をつくるのではないでしょうか。一日一日を大切に生きることで、人の役に立てる幸せを感じていけます。

私は修学旅行で、東京のユーロハウスを訪問しました。スタッフの方の説明を聞くうちに支援をする側の苦労やつらさがわかり、とても驚きました。五歳の誕生日を迎えない子どもたちや学校へ通えない子どもの話も聞きました。

私たちが普通だと思っていることは実はとても幸せだといふこと、恵まれた環境の私たちが一日一日を大切に生きていかなければならぬことを強く感じました。

自分得意の技術を人のために役立てれば、周りへの余裕や優しさが出てくるはずです。その繰り返しが人と人の幸せな未来をつくるのではないでしょうか。一日一日を大切に生きることで、人の役に立てる幸せを感じていけます。

私は修学旅行で、東京のユーロハウスを訪問しました。スタッフの方の説明を聞くうちに支援をする側の苦労やつらさがわかり、とても驚きました。五歳の誕生日を迎えない子どもたちや学校へ通えない子どもの話も聞きました。

私たちが普通だと思っていることは実はとても幸せだといふこと、恵まれた環境の私たちが一日一日を大切に生きていかなければならぬことを強く感じました。

自分得意の技術を人のために役立てれば、周りへの余裕や優しさが出てくるはずです。その繰り返しが人と人の幸せな未来をつくるのではないでしょうか。一日一日を大切に生きることで、人の役に立てる幸せを感じていけます。

下越吹奏楽コンクール

期日	7月24日
会場	りゅーとぴあ
成績	

県中学校総合体育大会

金賞	関川中学校吹奏楽部
成績	

柔道

期日	7月26～27日
会場	長岡市市民体育館
成績	

北信越中学校総合競技大会

期日	8月4日
会場	福井県立武道館
成績	

柔道

高橋	慎（3年・大石）
会場	福井県立武道館
成績	

女子個人戦

須貝梨菜子（3年・高田）	52kg級 第5位
長谷川夏帆（2年・下関）	57kg級 第7位

